

JIMUREQ Consulting 会社概要資料

» 事務部門の効率化で、
→ ビジネスを加速



 **JIMUREQ**
Consulting

バックオフィス革新を目指す企業に、業務改善・組織高度化支援の専門コンサルタントが伴走する“**専門領域特化型のブティック系コンサルティングファーム**”です。



バックオフィス革新を実現する専門コンサルタント集団

事務部門の効率化で、
ビジネスを加速

会社概要

会社名	JIMUREQ Consulting株式会社 (ジムレックコンサルティング株式会社)
所在地	〒103-0033 東京都中央区 新川1-6-12 AIビル茅場町207
事業内容	バックオフィス部門を対象とした、 業務改善/組織高度化にかかる経営コンサルティング
代表者	平野 涼
電話番号	03-6161-2556
設立日	2024年9月13日
決算期	8月

■ 高いコンサルティング満足度
バックオフィス支援に特化し専門性の高い弊社は、
支援プロジェクトはすべて継続・拡大しており
お客様から高いご評価をいただいております

Mission

日本のバックオフィスを 「攻め」の戦略拠点へ

- 従来のコストセンターという枠組みを超え、バックオフィスを企業の成長エンジンへと変革する、戦略的なオペレーション改革を支援します。
- 私たちは、バックオフィスの潜在力を最大限に引き出し、企業全体の競争力向上と持続的成長に貢献する革新的なソリューションを提供します。

Vision

バックオフィス革新の リーディングカンパニーへ

- 私たちは、バックオフィス改革の最前線に立ち、企業の成長を力強く牽引する、確固たる地位を築きます。
- 最新テクノロジーと専門知識を駆使し、進化し続ける顧客のニーズに応えながら、バックオフィスの可能性を拓き、日本中の企業を新たなステージへと導きます。

5

VALUE

JIMUREQ Consulting



統合的視野

- 経営者の戦略的視点と現場の実務的知見を融合し、組織全体の最適化を追求する
- トップダウンとボトムアップの双方向アプローチで、実効性の高い改革を実現する。

結果への
コミットメント

- 仕組み化と再現性にこだわり、確実な成果を追求する。
- 理論と実践の両立を図り、真の変革を実現する。

クライアント
中心主義

- クライアントの真のニーズを理解し、過不足のない最適なソリューションを提案する。
- 常にクライアントの利益を最優先に考え行動する。

長期的
パートナーシップ

- クライアントとの長期的で安定した関係構築を重視し、計画立案から実行まで一貫してサポートする。
- 共に成長し、成功を分かち合う関係を目指す。



創造的適応力

- 変化する環境と多様なニーズに柔軟に対応し、創造的なソリューションを生み出す。
- 常に学習し、自己研鑽に励み、革新的なアイデアを追求することで、クライアントと共に新たな価値を創造する。

コンサルティングファーム、監査法人、事業会社のそれぞれの経験を活かした
俯瞰的な見地からのプロジェクト推進ができることが強み

主な経歴

● アクセンチュア株式会社

オペレーションズ・コンサルティング本部シニアマネジャー

バックオフィス事務、営業事務領域を中心とした

BPOの企画・運営、DX推進、組織体制高度化等の支援に多数従事

● PwC Japan 有限責任監査法人

会計監査の一環としての

IT/内部統制監査、リスクアドバイザリー、

情報セキュリティアドバイザリーに従事

その他

- 外資系ITベンダーでの自社RPA製品のセールスおよび導入に向けたコンサルティング
- 外資系保険企業における財務報告システムの管理・運営
- 複数のスタートアップ企業でのバックオフィス統括、社内プロジェクト推進統括なども経験

保有資格

公認情報システム監査人 (CISA)



1



オペレーション改善・DX推進領域

- 全社業務を対象としたRPA/AI導入の余地診断、導入計画策定、業務設計、実装、定着化までの一気通貫支援
- セールスプロセスの刷新および継続的改善の定着に向けた社内コミュニケーション支援

2



組織体制高度化領域

- クライアント社員による自走型プロジェクトの実現を目指した、プロジェクトマネジメントポリシー、関連ツールの刷新およびPM候補者に向けたOJT支援
- バックオフィス組織全域における拠点・業務の統廃合を伴う要員配置の見直しおよびコスト削減に向けたシミュレーション支援

3



内部統制・ガバナンス・情報セキュリティ領域

- ISMS/Pマークの取得に向けた、情報セキュリティポリシー等の策定から運用状況のレビュー、改善アドバイスまでの一気通貫支援
- 子会社、委託会社等を対象とした、セキュリティポリシー遵守状況の訪問点検および改善指導

他、多数

明確な専門領域を定義し過剰な利益追求を行わない経営方針を取ることで、
昨今のコンサルティング業界の共通課題である**人材のスキル不足や報酬の高額化を解消**します。

バックオフィス支援に特化した

1 経験豊富な コンサルタント

専門性にフォーカスした支援にこだわることで、
高い専門性を有する経験豊富なコンサルタント
を確保・育成し、コンサルティング業界の課題
であるスキル・専門性の不足を解消します。



クライアントに寄り添った

2 過不足の無い スコープ設計

自社の利益を優先した戦略策定やシステム導入
などの高単価・大規模案件への誘導は行わず、
自社の専門領域を明確にしクライアントのニー
ズに寄り添った支援の提案を行います。



ブティックファームの特性を活かした

3 リーズナブルな 支援コスト

海外本社や社外株主などの資本的制約を持たな
い経営体制により、高品質な支援をリーズナ
ブルなコストで提供します。



バックオフィス支援に特化した

1 経験豊富なコンサルタント



当社が得意とする領域・分野

業務改革・効率化

- 現状業務可視化 & 効率化余地分析、目指す業務モデルの定義、効率化効果の推定
- 対応計画策定後、クライアント社員による課題解決に向けた伴走支援（実行支援も可能）

バックオフィスDX

- DX施策のPM・PMO、ペーパーレス、内製化体制の立上げ・運用支援、RPA/AI化余地分析
- バックオフィス業務とIT側両方の経験を有するコンサルタントが支援

BPO企画・運営支援

- 委託企業向け：対象業務棚卸・優先順位付け、委託先選定、SLA/KPI設計、立上PMO
- 受託企業向け：プロジェクト組成・移管設計、運用プロセス・品質管理フレーム整備、PM育成

情報セキュリティ

- ISMS/Pマークの取得に向けた、情報セキュリティポリシー等の策定
- セキュリティポリシー遵守状況の訪問点検および改善指導

ガバナンス・内部統制

- 規程・ポリシー体系の統合整備、職務分掌のアップデート、リスクアセスメント & 統制活動設計
- IT/データガバナンス強化に向けた成熟度診断、ToBe設計、全体ロードマップ策定

組織体制高度化

- クライアント社員による自走型プロジェクトの実現を目指したPM候補者向けOJT支援
- プロジェクトマネジメントポリシー策定、各種テンプレートやガイドラインの整備、定着

「攻めの経営」と「守りの統制」、双方の視点から最適なバックオフィス改革を支援

クライアントに寄り添った

2 過不足の無いスコープ設計



実態調査・分析に基づいた提案

- 診断→分析→実行など、フェーズごとにご提案
- 現状診断と目指すべき将来像の定義を行ってから計画立案し、段階的にご提案します

サンプル

余地分析/仮説立案
(1か月)

業務設計/トライアル
(2か月)

全社展開支援
(2か月～)

初回ご提案の範囲

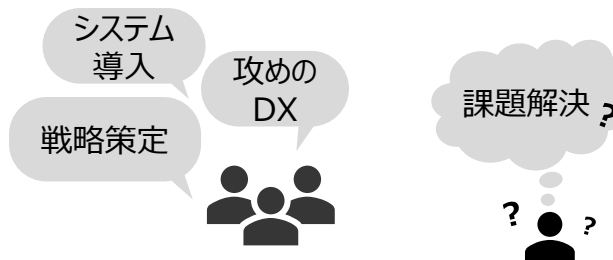
診断結果に応じて
次フェーズをご提案

トライアル結果に応じて
実効性のある解決策をご提案

クライアント価値の最大化

- クライアントニーズに即さない戦略策定や大規模プロジェクトへの誘導は行わず、クライアントの課題と投資対効果を精査し、実効性の高い施策を設計いたします
- 自社の売上拡大ではなく、クライアント価値の最大化を最優先に据えた支援を提供します

よくあるコンサル会社の提案



JIMUREQのご提案

課題に寄り添った
実効性の高い提案

顧客価値
ファースト

+

高い専門性

方法論

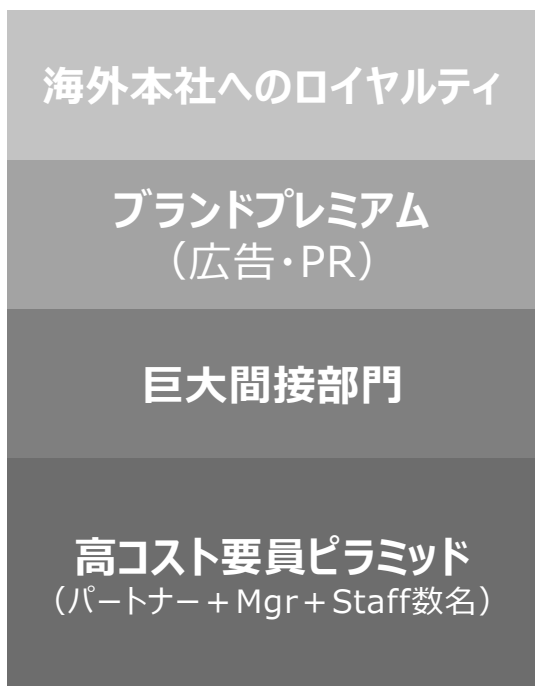




ブティックファームの特性を活かした

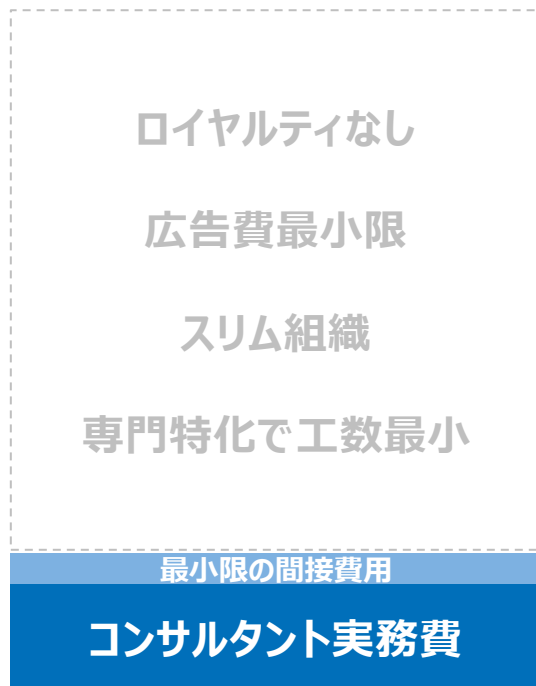
3 リーズナブルな支援コスト

大手コンサル会社のコスト構造



600万円~/月

当社コスト構造



120万円~/月

当社が高品質な支援を リーズナブルに提供できる理由

- ✓国内独立資本でロイヤルティ不要
- ✓スリム組織・固定費最小化
- ✓専門性の高いコンサルタントが直接デリバリ
- ✓専門領域特化で高い再現性

※業務改革プロジェクトの例

2週間-2か月間の必要最小限の期間で、
課題識別や課題解決にむけた初期仮設の立案などのアウトプットに重点を置いた支援を行います。

	BASIC ベーシック	STANDARD スタンダード	PREMIUM プレミアム
支援期間	2週間	1か月	2か月
報酬（目安）	60万円～	120万円～	240万円～
想定利用シーン	<ul style="list-style-type: none"> ✔ ヒアリング・現場視察による現状業務フローの作成 ✔ 社内における課題の言語化・一覧化 ✔ 情報セキュリティ管理体制の簡易アセスメント 	<ul style="list-style-type: none"> ✔ 業務効率化余地の識別、効率化実現に向けたTo-Be業務フローの初期仮設策定 ✔ 具体的施策の効果予測や導入スケジュールの検討 ✔ 社内プロジェクトマネジメントの各種テンプレート整備 	<ul style="list-style-type: none"> ✔ 詳細な業務分析/業務設計や複数拠点の業務統合設計 ✔ 業務自動化に向けた現行業務の詳細分析および自動化阻害要因の抽出 ✔ 具体的施策の実行計画とプロジェクト立ち上げに伴う伴走支援

クライアントが解決すべき課題の識別や解決に向けた実行計画の策定などを短期間で支援する プロジェクト型コンサルティングサービスです。



DXソリューションの導入対象業務 / ツールの選定



ISMS / Pマーク認証などに向けたセキュリティ診断



業務効率化に向けた業務フローの初期案策定



組織体制のスリム化に向けた要員配置の見直し



現場ヒアリング・視察による課題の吸い上げ



シェアードサービスセンター設立の企画検討



間接費削減の余地診断および実行計画の策定

▶ 調査や診断など“アウトプット”に重点を置いた支援



事務拠点を訪問しての業務ヒアリング/視察をもとにした 課題の識別から効率化に向けた計画策定などを行います。

課題診断プランの進め方（例）：業務効率化に向けた余地分析/仮説立案

1週目



現状整理

- 業務分掌、業務手順書、工数記録などの閲覧
- 既に明らかになっている課題の確認

2週目



業務ヒアリング

- 業務担当者へのヒアリング、視察による課題識別
- 工数の可視化・集計（概算）
- 効率化余地分析の対象となる代表業務の選定

3週目



効率化余地分析

- 目指すべきオペレーティングモデルの定義
- 代表業務に対する効率化案の検討

4週目



効率化効果推定

- 効率化施策の横展開による業務全体の効率化余地の推定
- 全体ロードマップ策定

後続フェーズ



課題解決実行

- 業務の詳細分析、業務設計、DXソリューション選定などの実行支援の提案

業務効率化検討の初期段階として、目指すべき姿の定義や全体の効率化効果の推定を行ったうえで、**実行フェーズの計画立案に移行することが重要**

月1-4回の訪問 / オンライン面談を中心に、
ヒアリングによる課題分析、解決に向けたアドバイスの提供、レポートの作成などを行います。

	BASIC ベーシック	STANDARD スタンダード	PREMIUM プレミアム
訪問/オンライン面談頻度	1回/月	2回/月	4回/月
報酬 (目安)	10万円~/月	16万円~/月	30万円~/月
想定利用シーン	<ul style="list-style-type: none">✓ 定期的な部門運営アドバイスや事例提供などを受けたい✓ マネジメント層の定期的な相談相手が欲しい	<ul style="list-style-type: none">✓ 社内メンバーのみで推進しているプロジェクトの進捗や課題について、定期的なレビューが欲しい	<ul style="list-style-type: none">✓ 対話を通じた課題の一覧化と初期施策の検討など、短期間で一定の効果を出したい

壁打ちプランは、コンサルタントが定期訪問しマネジメントが抱える課題の言語化や解決策検討を支援する**サブスクリプション型コンサルティング**サービスです。



社内における課題の言語化・一覧化



先進DX事例、他社取り組み事例などの簡易調査



社内プロジェクトの進め方、アウトプットのレビュー



部門運営計画に関するアドバイス



フリーランス/スポットコンサル活用に向けたアドバイス



マネジメント層からの相談全般



他社コンサル支援に関するセカンドオピニオン

▶ 対話やレビューによる“アドバイス”に重点を置いた支援

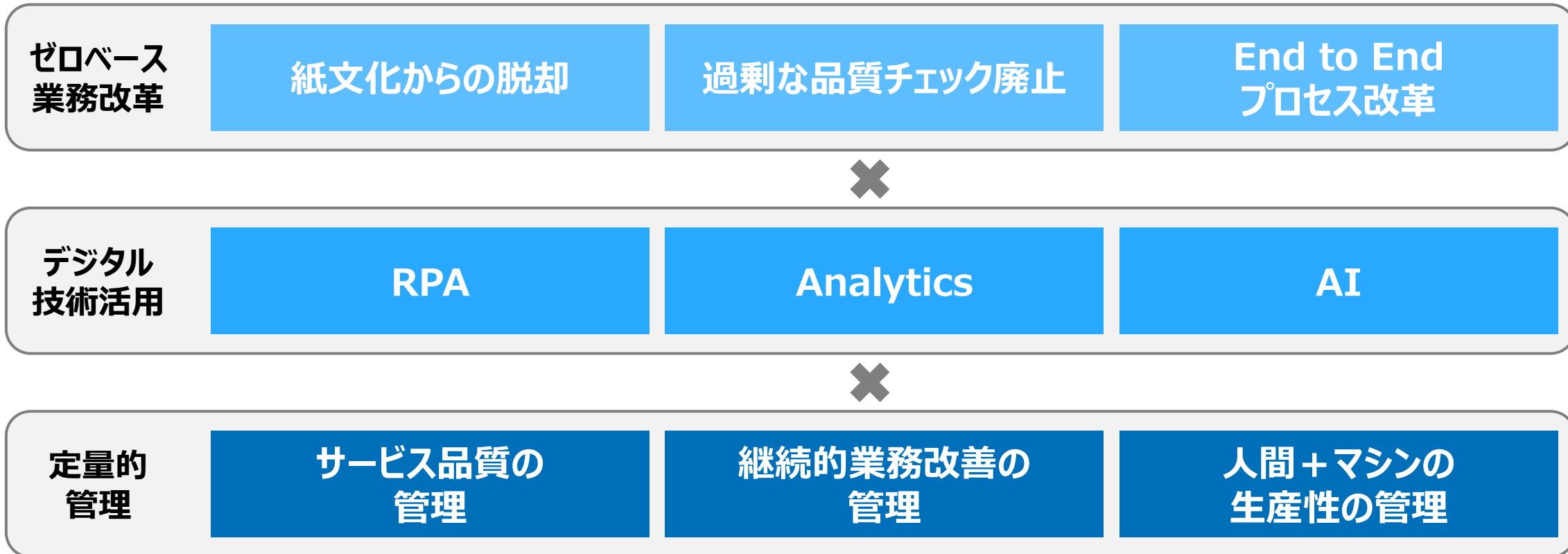


Appendix

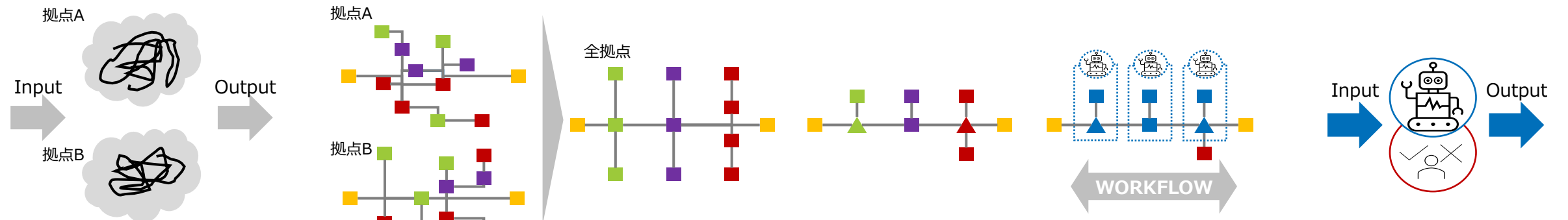
効率化に向けた業務改革の基本的な考え

ゼロベース業務改革、デジタル技術活用、定量的管理の3つの観点から、業務効率施策の効果最大化を目指します。

包括的なデジタル業務改革



徹底した業務改革を進めるには、拠点ごとにゼロベースで深いレベルで業務の徹底的な可視化を行い、業務を統合していくことが必要です。



- 業務が明文化されていない
- 各作業の実施ステップ、判断基準があいまい
- 熟練の経験者しかできない

- 各作業の判断基準・依存関係・作業のエントリー・イグジットクリテリアを明確化
- 属人化したプロセスを紐解き、プロセスを細分化

- プロセスを整理し構造化することで、複雑な判断基準・ステップを簡素化
- 熟練の経験者でなくともオペレーション可能な状態に

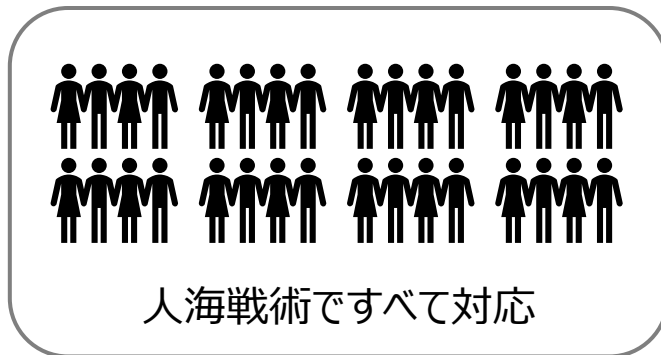
- 自動化効率を出すためのさらなる業務整理・業務改革を実施
- 関係者全員を巻き込んだ改革で、自動化阻害要因となる事象を排除

- 多様な自動化基盤を活用
- 全プロセスがデジタル化されることで、管理部分も自動化、複数拠点での業務管理がスムーズに

- End to Endで業務を徹底的に自動化
- 残った手作業の業務を各拠点で効率的に執行

デジタル技術により「定型化可能な業務」を徹底して自動化することで、省力化と処理量変化への弾力性確保を両立することが可能となります。

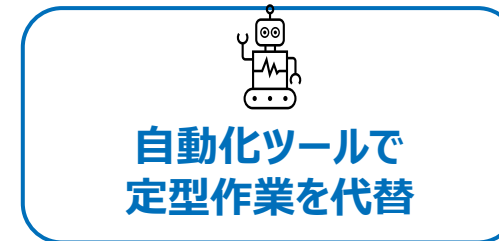
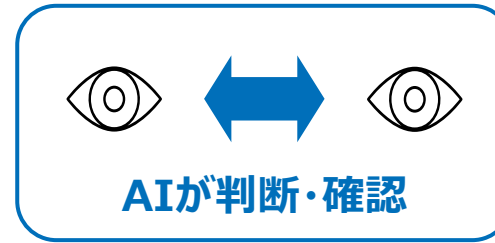
As-Is



- 品質向上の伸びしろが短い
- 処理量増加に伴いコストが上昇
- 処理量変化に応じた弾力性が低い



To-Be

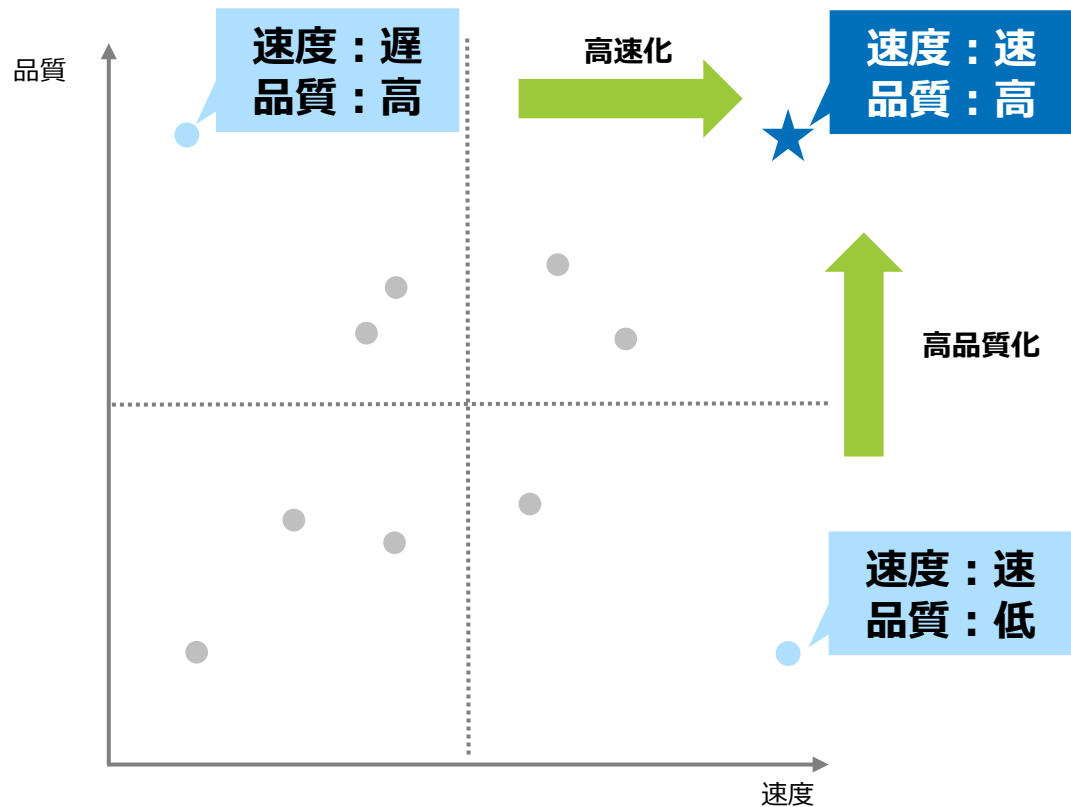


- 処理増加とともにAIの学習量が増え、**品質が絶え間なく向上**する
- さらにデジタルツールの**コストにもスケールメリット**が効く
- 省人化されるため、**処理量変化への弾力性が高い**

- ✓ 最適なプロセス設計
- ✓ 工程管理

個人単位での作業速度・品質管理を行い、ベストプラクティスの抽出や業務手順の継続的改善に繋げることで、組織全体の生産性底上げを実現します。

個人単位のモニタリング



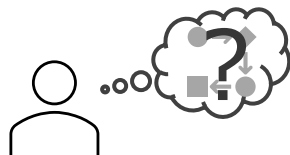
生産性向上施策

- 1 個人別作業速度・品質のトラック**
1日あたりの処理件数・不備/レビュー指摘件数などから、個人ごとの生産性を可視化
- 2 ベストプラクティスの抽出**
①高速・高品質②高速・低品質③低速・低品質の傾向よりハイパフォーマーの作業手順をベストプラクティスとして抽出
- 3 品質・速度向上支援**
オペレーター個々人の特性にあった支援により、生産性向上
- 4 業務手順書の継続的改善**
上記を通じ、手順書を常に最適化

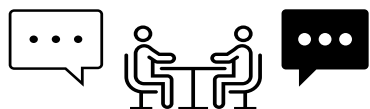
定量管理をもとにした生産性向上施策により、5~10%の効率化が期待可能

リーダー/現場担当者が一丸となった業務改革の推進には、組織風土としての改革マインドの醸成、リーダー/現場担当者双方へのスキルアップ支援の充実、が重要な要素となります。

改革が進まない組織



リーダーの業務現場への理解が不足



現場の改善提案が評価に繋がらない



業務改善が得意な
リーダー



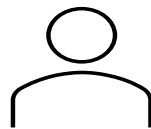
業務改善が苦手な
リーダー

リーダーの業務改善スキルに差がある

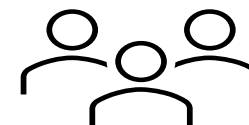
改革が進む組織

以下2点が組織風土として醸成され、定着している

- リーダーの深い現場理解に基づく、トップダウンの業務改革推進
- 現場担当による、ボトムアップでの改善提案の奨励



リーダー



現場担当者

- ✓ 業務管理だけでなく業務改革の推進もリーダーの評価項目として重視
- ✓ リーダーの業務改革スキルの向上も組織全体の目標として支援

- ✓ 業務遂行だけでなく現場視点での改善施策の提案・実行が確実に評価される人事制度
- ✓ 生成AI活用やRPA開発など豊富な研修によるDXスキルの底上げ

お問い合わせ

JIMUREQ Consulting株式会社



03-6161-2556



info@jimureq.com



<https://jimureq.com>

